新司法試験と旧司法試験との比較

区	分	旧司法試験	新司法試験
短答式試験	実施時期	5月の1日間	5月の1日間
	試験科目等	【3科目】 憲法、民法、刑法	【3科目(7法分野)】 1 公法系科目(憲法・行政法に関する分野の科目) 2 民事系科目(民法・商法・民事訴訟法に関する分野の科目) 3 刑事系科目(刑法・刑事訴訟法に関する分野の科目)
	武禄为代 日 守	【試験時間等】 ·出題数 : 60問(60解答) ·試験時間 : 3時間30分	【試験時間等】 ・出題数 : 154問(259解答) ※平成21年度の出題数。 ・試験時間: 5時間30分(公法系科目・刑事系科目:各1時間30分 民事系科目:2時間30分)
論文式試験	実施時期	7月の2日間	短答式試験に引き続き3日間
	対象者	短答式試験合格者	短答式試験に引き続いて受験
	試験科目等	【6科目】 憲法、民法、商法、刑法、民事訴訟法、刑事訴訟法	【4科目(8法分野)】 1 公法系科目(憲法・行政法に関する分野の科目) 2 民事系科目(民法・商法・民事訴訟法に関する分野の科目) 3 刑事系科目(刑法・刑事訴訟法に関する分野の科目) 4 選択科目(倒産法、租税法、経済法、知的財産法、労働法、環境法、国際関係法(公法系)、国際関係法(私法系)から1科目を選択)
		【試験時間】 各科目2時間 (計12時間)	【試験時間】 公法系科目:4時間、民事系科目:6時間、刑事系科目:4時間 選択科目:3時間 (計17時間)
口述試験	実施時期	10月の3日間	
		論文式試験合格者 ※前年の口述試験に不合格となった者は、翌年に限り口述試験を受験可能	
	試験科目等	【3科目】 1 憲法 2 民事系科目(民法、民事訴訟法) 3 刑事系科目(刑法、刑事訴訟法)	

- (注)1 法務省の資料を基に総務省行政評価局が作成した。 2 平成23年新司法試験では、論文式試験終了後に、引き続き短答式試験を実施する日程となっている。